



「干潟」

撮影 / 佐谷 禎介

## ピンボケ会

## 俳句会

(六月例会)

大庭土筆選

## 短歌会

(七月例会)

藤村 学選

### 特選

父の日や鰯<sup>やも</sup>夫<sup>お</sup>通した父の意地

摩治 廣子

### 本選

五月闇より源流の水の声

花田ムツ子

父の日や息子見事な育児振り

原口 孝子

### 予選

父の日のリュックあれこれ選びけり

野上マチ子

「しっかりと背筋伸ばして歩きんしゃい」腰がくの字の友に言はれる

原 哲子

節太きおおきな指で映したるブタさんみたいなキツネの影絵

井上あつ子

はらからの寿命はるかに越えにけり「もうおいでよ」と近く呼ぶ声

木原トシ子

莢が爆ぜへカラスノエンドウ戦<sup>そよ</sup>きあるゆうぐれに浮く茜なす雲

神崎 鈴子

白鷺<sup>ちびぞう</sup>が稚苗のなかに佇<sup>ちびぞう</sup>ってゐる田を夕つ陽があかく照らせり

金田トシ子

7月  
23日

## 遊べるカエルのおりがみ作成 町立図書館おりがみ教室



町立図書館主催の「おりがみ教室」が開催され、多くの方が参加しました。今回は、カエルのおりがみを作成。おしりをはじくとピョコンを跳ねるおりがみに、子どもたちの笑顔があふれていました。次回



は8月27日(日)開催予定。以降の日程は広報けいせん裏表紙の「行事カレンダー」でご確認ください。【問合先】町立図書館

☎65・4946

## 編集＊後記

Editorial Postscript

- ▶「はなちゃんのみそ汁を飲んでみたい」と、安武信吾さんが講演をするたびに聞かれるほど、ファンの多い安武はなさんが作るみそ汁。取材の際、いただく幸運に恵まれました。
- ▶信吾さんに勧められテーブルにつき、手を合わせ、一口いただく。……おいしい！昆布とかつお節のだしの味と香りが、口から鼻にしっかりと抜けて心地よく、だしによって、みそそのものの味が引き立っている。だしとみそが融和している。「本物のみそ汁」という言葉が頭に浮かびました。
- ▶多忙を極める現代社会。手軽さ・効率の良さを求めるのはある程度仕方ないことなのかも知れませんが、線引きを間違うと、本物の「食」から離れていってしまいます。手を抜くべきではないこととは何か。しっかりと調べ、考え、自分の体験として実践しなければいけないと感じた取材・特集でした。
- ▶ところで、突然ですが、7月末をもって、一身上の都合により、桂川町役場を退職することとなりました。入庁して6年、広報担当として4年と、多くを広報として過ごした役場生活でした。
- ▶小学校や保育所を訪れると「カメラマン！」「吉田さんだ！」、町内で取材をしていると「大変やねえ」「いつも楽しみに読みよるばい」と声をかけられ、多くの町民の方に親しみをもっていただいている中での退職に、私自身残念ですし、読んでいただいている皆さまに申し訳ない気持ちでいっぱいです。
- ▶広報は大変な仕事でしたが、皆さまに支えられ、全国広報コンクールにおいて入選を果たすことができ、町民の方からも「毎月楽しみ」「見やすく面白」と評価をいただくことができました。
- ▶さて、退職にあたって私から一つお願いがあります。町民の方とお話していると、「ここはなんもない町やきね」という自虐めいた冗談をよく聞きます。どうにも、桂川町民は桂川町に対する自信が薄い気がするんです。
- ▶広報になってから4年間、取材で、個人で、桂川町の東西南北隅々を走り回ってきてわかったことは、桂川町は、夢と熱意と笑顔に満ち満ちた町であるということです。その地域資源をこれまで広報でもたくさん紹介してきました。
- ▶だから、「桂川町はなんもない町」なんて悲しいことを言わないでください。そしてこれからも、広報けいせんで紹介される町の良い所を知って、わが町桂川に自信と誇りを持ってほしいんです。それが私の広報として最後のお願いです。
- ▶今後は私もイチ町民となり、自慢の桂川町のこれからは見守っていこうと思います。最後に、すべての町民の方に感謝を込めて、これまで本当にありがとうございました。皆さんと出会えたこの6年間、本当に幸せでした。またきっと、どこかでお会いしましょう。(広報担当 吉田翔平)

